

令和3年度
事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

学校法人 黒木学園

○. 事業の概要

本学校法人黒木学園の令和3年度における事業の概要は、以下のとおりであります。

◎長野スクールオブビジネス

すべての学科が募集停止となっていますので、在籍者がいません。

◎専門学校カレッジオブキャリア

自動車整備科が共和に移転し14年目、生徒は昨年の59人より若干減少し56人に、一昨年美容芸術科は廃止手続きを行い、学科名が変更したブライダル・ホテル科とデジタルクリエーション科のみで減少です。

令和4年度に向け、入学予定者は30人強でブライダル・ホテル科が減少しデジタルクリエーション科は増加で、当年度より若干増加して60人強の在籍者を予定しています。また、美容芸術科通信課程も同じく廃止となりました。

◎専門学校長野自動車大学校

自動車整備科が独立移転し開校して14年目、自動車整備科は10年目の4年生が在籍して、生徒数が昨年の73人から78人に若干増加し、自動車整備科が増加で、教養科は募集停止で在籍者なしでした。

令和4年度に向け、教養科の在籍者がなし、入学予定者は昨年より減少の30人強で、自動車整備科は前年同様となり、80人弱の在籍者を予定しています。

◎長野ひまわり幼稚園（幼稚園型認定こども園）

新園舎での17年目を迎え、平成30年度より幼稚園型認定こども園となり4年目でした。園児数は昨年より若干増加の159人で定員程、他に20人の2歳児が在籍しました。

令和4年度入園児は2歳児を含め60人弱を予定していますので、令和4年度は当年度より若干増加して、180人強の園児数を予定しています。

◎認定こども園信濃ひまわり幼稚園（幼保連携型認定こども園）

平成27年度より幼保連携型認定こども園となり、幼稚園と保育園が一部門で7年目でした。園児数は昨年より減少して、3～5歳児が161人で、0～2歳児が44人の合計205人となりました。

令和4年度入園児は全体で40人位を予定し、3歳児は3学級から2学級に減らして2年目昨年度より減少の190人位を予定しています。

○. 財務の概要（令和3年度決算の状況）

令和3年度の予算の執行状況について、その概要を報告いたします。

（1）資金収支計算

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対する、すべての収入・支出の内容を明らかにし、かつ支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

資金収入合計は、6億3,165万円となり、予算を1億6,777万円上回りました。これは主として借入金等収入やその他の収入、雑収入、学生生徒等納付金、付随事業・収益事業収入等が見込みを上回ったことによりますが、前受金や補助金収入、手数料収入他が見込みを下回り、支出増を抑えました。

資金支出は6億1,822万円となり、予算を7,092万円上回りました。これは、借入金等返済とその他の支出、経費等が予算を上回りましたが、設備関係支出等が下回ったことによるもので、特に建物や就学費の支出が予算を大幅に上回りました。

よって、繰越支払資金は、前年度より1,342万円増加して3億1,518万円となりました。

次に、主な科目について説明いたします。

① 資金収入

学生生徒等納付金収入は1億5,667万円となりました。授業料、入学金、実習費、施設設備費、基本保育料が主な収入で、学費納入の生徒・園児数は専門学校が2校で134人、幼稚園が2園で384人です。（幼稚園は基本保育料となり、保育料の無償化により3歳未満児のみの納付となります。）

手数料収入は182万円で、入学検定料収入134万円が主な収入であり、専門学校の追再試験料の試験料収入は42万円を計上しました。

補助金収入は3億2,556万円となり、県と市町村の補助金が予算を上回りましたが、施設型給付費は予算を下回りました。

付随・収益事業収入は988万円で予算を上回り、雑収入は2,876万円で前年より大幅に減少しました。

前受金収入は1億980万円となり、専門学校生の減少や学費の2回分納で、予算より大幅に下回りました。

その他の収入は、前期末未収金や預り金の受入が4,973万円で予算を大幅に上回りました。

② 資金支出

人件費支出は3億7,764万円となりました。本務・兼務教職員給・退職金等の支出で、退職

金が予算を大幅に上回り、教員人件費は予算より減少し、職員は若干増加しました。

経費支出は9,381万円で、各設置学校の教育研究諸活動費や全般に係る経費、学生募集経費、法人に必要な諸経費等となり、予算を大幅に上回りました。

借入金等利息支出は300万円で、借入金等により予算を下回りました。

借入金等返済支出は7,082万円で、計画どおりの返済と短期借入金の返済が行われました。

施設関係支出は建物の改装や電灯LED化等により5,555万円で予算を上回り、設備関係支出は380万円で予算を下回りました。

その他の支出は5,182万円で大幅に予算を上回り、前期末未払金と前払金の支払支出が予算を上回りました。

(2) 事業活動収支計算

「事業活動収支計算書」は、当該会計年度における事業活動収支の均衡状態とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示すもので、計算目的に違いはありますけれども、いわば企業会計の損益計算書に当たるものであります。

事業活動収入の教育活動収入は、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金等の法人に帰属する負債とならない収入で、経常費等補助金や手数料等が見込みより下回り、雑収入や学生生徒等納付金、付随事業収入等が見込みを上回りましたので、予算を205万円上回り5億2,420万円となりました。なお、他の収入も含めた事業活動収入計は、参考ですが5億2,434万円となりました。

一方、事業活動支出の教育活動支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費で、5億3,475万円となり、予算を2,097万円上回りました。なお、他の支出も含めました事業活動支出計は、参考ですが、5億3,775万円となりました。

当年度決算における基本金組入前収支差額は、1,341万円の支出超過で予算を下回りました。また、基本金組入額は除却等がありましたが3,264万円で予算を下回り、当年度収支差額は4,604万円の支出超過で予算を上回り、翌年度繰越収支差額は増加して△11億5,700万円となりました。

(3) 貸借対照表

専門学校カレッジオブキャリアで中御所保育園の仮園舎工事等が前年度にあり、完成引渡しが当年度となりましたが、固定資産は132万円減少し、流動資産も1,837万円減少し、資産合計は1,969万円の減少で、13億752万円となりました。

一方、借入金と長期未払金、前受金、預り金がそれぞれ318万円と1,120万円、359万円、217万円増加して、未払金が2,641万円減少し、負債全体で628万円の減少で、3億8,142万円となりました。

結果、純資産（正味資産）は1,341万円の減少で、9億2,609万円となりました。